



号外 静岡三区版
平成28年3月1日
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
<http://www.dpj.or.jp>

明日の日本 生活が第一

静岡県第三区総支部版
民主党静岡県第三区総支部 総支部長 小山展弘
〒438-0078 静岡県磐田市中泉656-1
電話 0538-39-1234・FAX 0538-39-1235
e-mail : n_koyama@aroma.ocn.ne.jp

中東遠農政懇談会

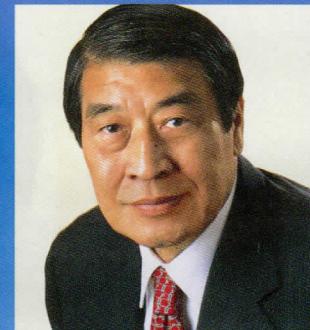
参加無料

お気軽にお誘い合わせ
の上、ご参加ください。

日時:3月12日(土) 13時00分開始(12時30分開場)

場所:メロープラザ 会議室3 駐車場:110台 袋井市浅名1027 袋井市役所浅羽支所南

弁士:山田 正彦 元農林水産大臣
演題:「TPPと日本の将来」



1942年長崎県生まれ。弁護士、元農林水産大臣。早稲田大学第一法学院卒業。司法試験合格後に長崎県五島で牧場を経営。その後、弁護士事務所を開業し、中小企業の借金問題、サラ金問題に取り組み、暴力金融と徹底的に闘う。1993年に衆議院議員に初当選し5期務める。平成23年には農林水産大臣に就任。宮崎県で猛威をふるった口蹄疫では、現場の最高責任者として封鎖にあたる。大臣退任後、現在に至るまで「TPPを慎重に考える会」の会長、「TPPを考える国民会議」の副代表として全国的に活動中。

民主党静岡県参議院第一総支部長
特別ゲスト: 平山 佐知子



民主党静岡県第三区総支部 総支部長
主催: 小山 展弘 衆議院議員



TPPで国益は守られたのか…小山展弘 衆議院議員・民主党ネクスト農林水産副大臣に訊く

○TPP協定が調印されましたどのようにお考えですか?

TPPの内容がようやく公開され、問題点が明らかになってきています。日本が得たものは少なく、譲ったものは計り知れないのではないかでしょうか。日豪EPAやWTOと異なり「除外」の文字はないにも関わらず、政府はコメなどの重要品目の関税維持を勝ち取ったと言っています。その根拠として第2・4条の譲許表に関税撤廃時期を記載しないことを挙げていますが、譲許表は7年後に再協議することが定められており、その際に関税維持の撤廃や、関税撤廃時期の繰り上げを求められる可能性もあり、固めに見ても、関税維持品目の是非は「棚上げ」「先送り」だったと言えます。関税の引き下げについても、日本は牛肉では、協定発効時に▲10%削減され、その後15年間で▲18.5%削減されます。豚肉でも大きな譲歩を許しています。一方で、日本が得るべき乗用車は、わずか2.5%の関税を、米国で14年間維持され、15年目から10年間かけて撤廃されます。トラックは25%の関税を29年間も維持して30年目に撤廃です。米韓FTAでは自動車は5年で撤廃ですから、この分野では譲歩したと言われても仕方ないと思います。

農林水産業等に対する影響額試算は国会審議を通じて根拠がなく、かなり甘い見通しであることが明らかになり、発表にあたっては省内でもかなり異論があったようです。一方で自動車部品の輸出については品目別のプラス効果を算出するとしており、具体的な議論すら出来ない状況です。遺伝子組換食品は、「締約国の法令及び政策に従うことを条件として」と明記されており、直ちに表示義務はなくなりません。しかし、遺伝子組換食品については貿易の拡大を目的とする内国民待遇・物品市場アクセス章に位置付けられ、また、「現代バイオテクノロジーの生産品に関する情報交換及び協力を実現するための作業部会」では各国の表示規制等も議題となりうるとのこと、今後の動向を充分に注視する必要があります。

○TPPで、安倍さんが話した「お茶の輸出」は伸びますか?

少なくともTPP交渉によって輸出額が伸びる可能性はなさそうです。安倍総理は、当初、「関税撤廃を勝ち取った」「輸出が伸びる」と言っていましたが、もともとアメリカ、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、シンガポールのお茶は無税でTPPとは関係ありません。TPPでお茶の関税が撤廃となる国は、メキシコ、チリ、ペルー、ベトナムですが、輸出量は、メキシコが1トン、チリ・ペルーは0、ベトナムは19トンで、お茶を消費する国々ではありません。今後の市場開拓等を否定しませんが、TPP協定でお茶の輸出が急拡大することは望めません(日本のお茶生産量は8.5万トン)。

○民主党がTPPを進めたのではないかとの声もありますが?

民主党は党が分裂し、政権を失っても、TPP交渉に参加させなかつたのだと私は認識しています。解散直前の民主党の決定は「TPP反対意見が7割、賛成意見3割」という意見集約を踏まえ、政府に慎重な対応を求める」というものでした。鹿野道彦農水大臣は、辞表を胸に、情報収集が十分でない中でのTPP交渉参加を阻止しました。議席を失っても、慎重に対応すべきとの声をあげた議員も多数います。また、交渉参加を主張した議員からも、このように国益を損ねる交渉はありえないとの声が上がっています。今こそ、TPP交渉内容、交渉経過、問題点についてしっかりと審議し、国益にかなうものか否か、見極めていくべきだと思います。

「協同・連帯」 「共生・安心」 の社会を創ろう



国民の所得向上、個人消費の増加

国民の所得が増え、「生活」が安定してこそ、GDPの約6割を占める個人消費が持ち直し、経済も成長します。税制や給付等を通じ、所得再配分政策をすすめ、国民の所得、特に働く世代、若い世代の所得が増える政策を進めます。

社会の保障制度の信頼回復

消費税の使い途は、自動車取得税等の不合理な税制の撤廃に使うほかは、全額、社会保障制度の維持に使い、年金、介護保険、医療保険などの社会保障制度の信頼性を高め、将来も安心して「生活」できる社会を目指します。また、国民皆保険の医療制度は、いかなることがあっても堅持し、診療報酬のプラス改定を目指します。中東遠地域の医師・看護師を確保し、救急医療体制の確立に努めます。

子育て支援の充実と人口問題への取組

日本の最大の課題は人口減少。このまま少子高齢化が続ければ、財政の面でも、個人消費の面でも、10年後、20年後、私たちの「生活」は、もっと苦しくなります。長期的な視点で、お子さんを生み育てやすい環境の国を目指します。

労働法規制の改悪に反対、安心して働く労働政策の実現

ホワイトカラー勤労者の労働時間に関する規制の緩和や、派遣社員の受け入れ期間制限の事実上の撤廃などの労働法規制の改悪に反対し、違法派遣を根絶し、安定雇用を促進します。

災害対策の推進とクリーンエネルギーの実用化

中東遠地区の津波堤防構築に向け、全力を尽くします。学校のさらなる耐震化(建替え・根本的な改修)と民間住宅への国の支援の拡充を図ります。小水力、バイオマス、風力、地熱等々のクリーンエネルギー、再生可能エネルギーの実用化・普及に努めます。

農林水産業の再生・振興

日本型直接支払制度・戸別所得補償制度の拡充に努めるとともに、米価・茶価下落対策に努めます。「リーフでお茶を飲む習慣」の振興を図り、お茶の需要・消費拡大策を推進します。農協法変更に伴う准組合員規制調査・員外利用規制調査にあたっては、地域の現状を踏まえた調査となるように行政を監視するとともに、「地域インフラとしての農協」がいきいきと活動できる環境づくりに努めます。

協同組合・NPOの振興と「新しい公共」の拡充

自立した個人の助け合いの組織である協同組合の発展に努め、「協同組合憲章」や「協同組合基本法」の成立に全力を尽くします。NPOや協同組合などの「新しい公共」分野の拡充のため、税制改正をはじめとする政策を実現します。



予算委員会にて麻生財務大臣に質問



農協法改正に対する衆議院付帯決議の実現
(提案者)



地元の主要製造業であるオートバイの振興について議連の仲間とともに国交省等に要望



今年も府八幡宮の祭典に志組の中老として参加



磐田市弓道協会に所属

小山のぶひろプロフィール

1975年 12月26日掛川市(旧小笠郡大須賀町)生まれ 磐田育ち
1982年 大須賀町立横須賀幼稚園 卒園
1988年 磐田市立磐田西小学校 卒業
1991年 磐田市立磐田第一中学校 卒業(水泳部所属)
1994年 静岡県立磐田南高等学校 卒業(弓道部所属)
1999年 早稲田大学 政治経済学部 政治学科 卒業
2001年 早稲田大学大学院 政治研究科 修士課程 修了(政治学修士)
農林中央金庫(JAバンク)入庫(2006年退職)
2006年 松下政経塾 入塾
日本公共政策学会入会
2007年 民主党静岡県第三区総支部長 就任
2009年 第45回衆議院議員選挙にて初当選

2013年 静岡理工大学 非常勤講師(2014年まで)
2014年 第47回衆議院議員選挙にて当選(2期目)
現 在 農林水産委員会、災害対策特別委員会、議院運営委員会に所属
民主党 ネクスト農林水産副大臣
民主党 国会対策副委員長
民主党 政策調査会副会長
民主党 会計監査
協同組合振興研究議員連盟 事務局長
二宮尊徳思想研究議員連盟 事務局次長
お茶振興議員連盟 事務局次長
連合組織内議員懇談会 事務局次長
全国農団労 組織内議員
磐田市在住

- 著書…「脱占領時代の対中政策—戦後の日本は中国とどう向き合ったのかー」
- 尊敬する人物…石橋湛山、二宮尊徳、石田博英、徳川家康
- 趣味…カラオケ、B級グルメ巡り、温泉巡り、弓道(式段)、水泳
- 好物…カレーライス、とんこつラーメン
- ニックネーム…コンちゃん

メールマガジン配信中!!

小山のぶひろの日本や郷土への想い、政治への熱い想い、活動報告などをメールに託してお届けいたします。

PC版 <http://www.n-koyama.com/mail>にアクセス

携帯版 n-koyama@67827.rat-ml.jp

またはQRコードから空メールを送信で登録

